

【注意事項】

R20TS0463JJ0100

Rev.1.00

RH850 スマート・コンフィグレータ

2019.08.01 号

概要

RH850 スマート・コンフィグレータの使用上の注意事項を連絡します。

1. 入力パルスインターバル測定を使用する場合の注意事項
2. クロック同期シリアルインタフェースでマスタモードを使用する場合の注意事項

1. 入力パルスインターバル測定を使用する場合の注意事項

1.1 該当製品

RH850 スマート・コンフィグレータ V1.0.0 以降

1.2 該当デバイス

RH850 ファミリ : RH850/F1KM グループ

- RH850/F1KM-S1 グループ : 80 ピンおよび 100 ピン製品
- RH850/F1KM-S4 グループ : 100 ピン、144 ピン、176 ピン、および 233 ピン製品

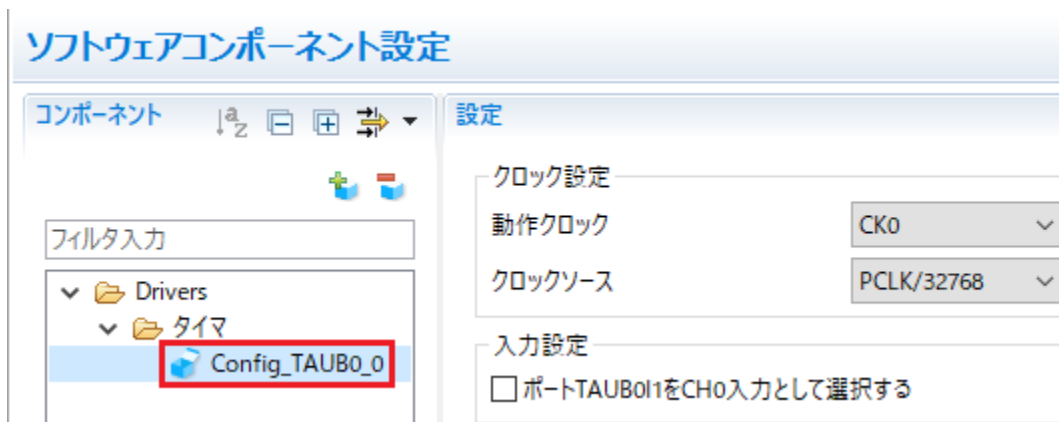
1.3 内容

以下のタイマアレイユニットにおいて、入力パルスインターバル測定を使用する場合に、TAUB n チャネルモードユーザレジスタ(TAUB n CMUR m)^(注)を誤ったレジスタ名(TAUB n CMOR m)^(注)としてコードが生成されるため、正しい値を設定できません。

注 : n = ユニット番号、 m = チャネル番号

- RH850/F1KM-S1 グループ : 80 ピンおよび 100 ピン製品
TAUB0(チャネル 0~15)
- RH850/F1KM-S4 グループ : 100 ピンおよび 144 ピン製品
TAUB0(チャネル 0~15)
- RH850/F1KM-S4 グループ : 176 ピンおよび 233 ピン製品
TAUB0(チャネル 0~15)および TAUB1(チャネル 0~15)

- TAUB0 のチャンネル 0 の入力パルスインターバル測定を使用した場合の発生例
 <コンフィグレーション名>が Config_TAUB0_0(初期値)の場合の発生例を記します。



Config_TAUB0_0.c の関数 void R_Config_TAUB0_0_Create(void)に以下のコードが生成されて、TAUB0.CMUR0 レジスタに値が設定されません。

誤ったコード例

```
void R_Config_TAUB0_0_Create(void)
{
    ...
    /* Set compare match register */
    TAUB0.CMUR0 = _TAUB_INPUT_EDGE_FALLING;
    ...
}
```

1.4 回避策

入力パルスインターバル測定の下記ソースファイルの生成コードを手動で修正してください^(注)。

- ・ ソースファイル “<コンフィグレーション名>.c”の関数：
“void R_<コンフィグレーション名>_Create(void)”

注：再度コード生成を行うと修正前の状態に戻りますので、コード生成を実行するたびに修正が必要です。

以下に RH850/F1KM で<コンフィグレーション名>が Config_TAUB0_0(初期値)の場合の修正例を記します。赤文字の部分が修正内容です。

修正前

```
void R_Config_TAUB0_0_Create(void)
{
    ...
    /* Set compare match register */
    TAUBn.CMORm = _TAUB_INPUT_EDGE_FALLING;
    ...
}
```

n = ユニット番号、 m = チャネル番号

修正後

```
void R_Config_TAUB0_0_Create(void)
{
    ...
    /* Set compare match register */
    TAUBn.CMURm = _TAUB_INPUT_EDGE_FALLING;
    ...
}
```

n = ユニット番号、 m = チャネル番号

1.5 恒久対策

次期バージョンで改修予定です。（2020年1月予定）

2. クロック同期シリアルインタフェースでマスタモードを使用する場合の注意事項

2.1 該当製品

RH850 スマート・コンフィグレータ V1.0.0 以降

2.2 該当デバイス

RH850 ファミリ : RH850/F1KM グループ

- RH850/F1KM-S1 グループ : 48 ピン、64 ピン、80 ピン、および 100 ピン製品
- RH850/F1KM-S4 グループ : 100 ピン、144 ピン、176 ピン、および 233 ピン製品

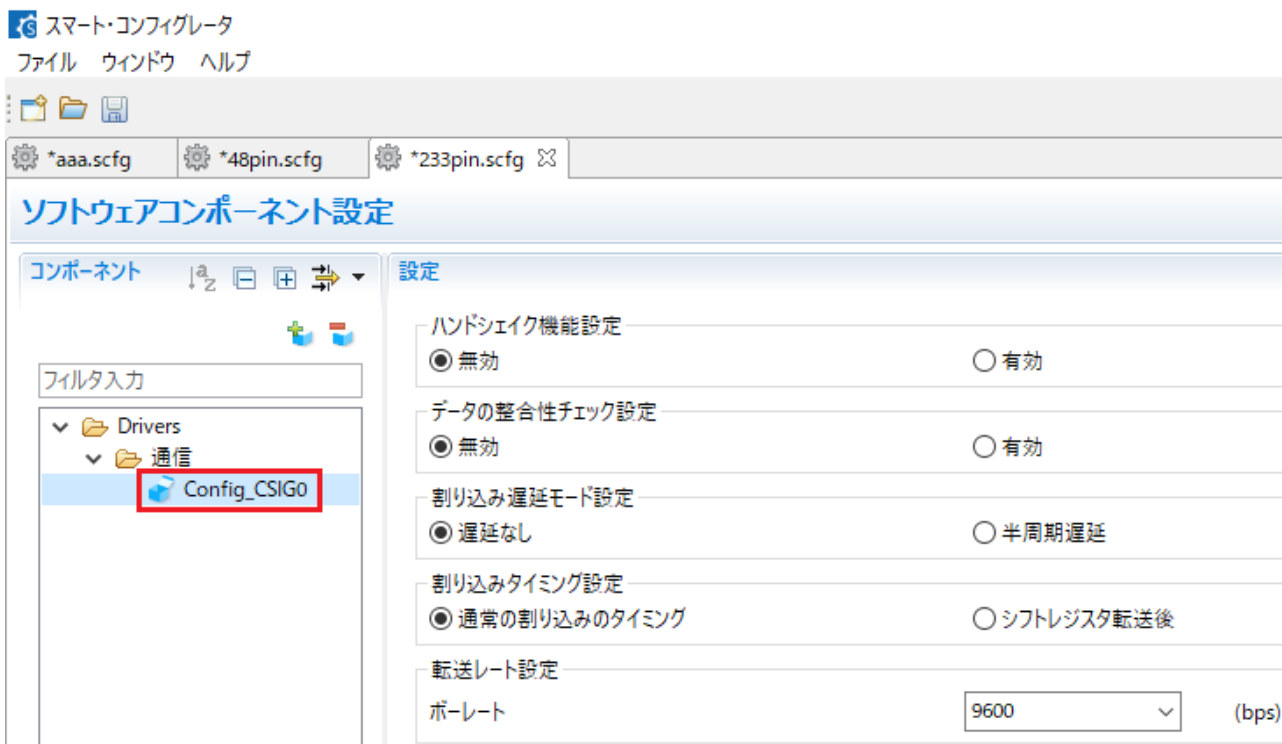
2.3 内容

以下のクロック同期シリアルインタフェースをマスタモードで使用する場合に、誤ったマクロ定義が生成されるため CSIG n 制御レジスタ 2(CSIG n CTL2)^(注) と CSIH n 制御レジスタ 2(CSIH n CTL2)^(注) に正しい値を設定できません。

注 : n = ユニット番号

- RH850/F1KM-S1 グループ : 48 ピンおよび 64 ピン製品
CSIG0 および CSIH0
- RH850/F1KM-S1 グループ : 80 ピン製品
CSIG0 および CSIH0~2
- RH850/F1KM-S1 グループ : 100 ピン製品
CSIG0 および CSIH0~3
- RH850/F1KM-S4 グループ : 100 ピン製品
CSIG0 および CSIH0~3
- RH850/F1KM-S4 グループ : 144 ピン製品
CSIG0~1 および CSIH0~3
- RH850/F1KM-S4 グループ : 176 ピンおよび 233 ピン製品
CSIG0~3 および CSIH0~3

- CSIG0 のクロック同期シリアルインタフェースを使用した場合の発生例
 <コンフィグレーション名>が Config_CSIG0(初期値)の場合の発生例を記します。



Config_CSIG0.h のマクロ定義で_CSIG0_SELECT_BASIC_CLOCK に誤った値が生成されます。

誤ったコード例

```
#define _CSIG0_SELECT_BASIC_CLOCK    (0x0002U) /* Selects the basic clock */
```

2.4 回避策

クロック同期シリアルインタフェースの下記ソースファイルのマクロ定義を手動で修正してください^(注)。

注：再度コード生成を行うと修正前の状態に戻りますので、コード生成を実行するたびに修正が必要です。

以下に修正例を記します。赤文字の部分が修正内容です。

➤ CSIGNの場合

- ・ソースファイル “<コンフィグレーション名>.h”のマクロ定義：_CSIGN_SELECT_BASIC_CLOCK
n = ユニット番号

修正前

```
#define _CSIGN_SELECT_BASIC_CLOCK (0x????U) /* Selects the basic clock */
```

n = ユニット番号、????は設定により異なります

修正後

```
#define _CSIGN_SELECT_BASIC_CLOCK (0x????U <<13U) /* Selects the basic clock */
```

n = ユニット番号、????は設定により異なります

➤ CSIHnの場合

- ・ソースファイル “<コンフィグレーション名>.h”のマクロ定義：_CSIHn_SELECT_BASIC_CLOCK
n = ユニット番号

修正前

```
#define _CSIHn_SELECT_BASIC_CLOCK (0x????U) /* Selects the basic clock */
```

n = ユニット番号、????は設定により異なります

修正後

```
#define _CSIHn_SELECT_BASIC_CLOCK (0x????U <<13U) /* Selects the basic clock */
```

n = ユニット番号、????は設定により異なります

2.5 恒久対策

次期バージョンで改修予定です。（2020年1月予定）

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Aug.01.19	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。